

ディーラーズプライスリストについて

読み方

*平成 25 年 1 月 28 日修正

注 あくまで SS 側の価格情報提供者からの情報を元にしておりますので、ご了承ください。

1 : 先読み参考のため早期報告を依頼していますので、建値ベースの報告もありますが、できるだけ見込みも含めた報告で、実態価格にこだわっています。途中「変更」⇒それも大いにチェック対象に値すると思えます。

2 : 価格変更、後日調整も申告いただいておりますが、完全把握とはまいません。

3 : 区分別は、ガソリンをメインにしています。

* 灯油・軽油は別ルートの特約店は多数存在。当たり前です。

* ガソリンと灯油・軽油の購入方法の違いも大いに勉強といえ勉強です。

ー1 : PB組は、完全なる独自PB。商社系PBは系列組に入れてあります。

ー2 : 他社買い組とは、いわゆる浮気買いの系列店（系列玉と業転の加重平均価格）。
ガソリン購入比率20%超えると他社買い組です。

ー3 : 系列組は、ガソリンが80%～全量買い。

サブ＝三者も含む（第二表）。灯油・軽油は不問。

4 : 複数元売仕入れ＝区分が明確な会社は、1社2～3サンプルとして個別入力。

5 : 区分の全体バランスは、業界の現状シェアに近いと認識しています。

■分布は130社中

PB : 27社 他社買い組（浮気）26社 系列(サブ含む)77社

●サブ（三者）は別途第二表で、地場特約店 ⇔ 商社・販社経由とに分けています。新・新価格体系になってから、仕切り構造の差のままに大きな違いが出てきました。地場特約店の場合、ガソリンへの対応力はゼロに近くなりました。

6 : 運賃は、最大手運賃を参考に130社個別に算出して、

差し引いての製油所出し価格で、130社単純比較できるようにしました。

しかし元売り運賃⇔実態運賃との齟齬もある。＝運賃は、残された課題といえます。

7 : 基本的に直営SS分価格としています。

「卸」「インタンク物」価格は取り上げていません。くどいですが直営SS分。

用語解説

- 8：「壁価格」は、s t 3 1が独自推察する元売側の(希望)第一防波堤価格。
よって、当然壁価格以下もありますが、普通には大手優良向け価格。
・ 業転安の時期や激戦区は、さらに0.8~1.0円安い第二壁価格があると感じられる。
大手元売りからの系列向けとしては、最安値レベル、譲れない価格。
- 9：4 R I M価格 ≡業転価格
：千葉・京浜・中京・阪神の4地区製油所出し平均 ：リム社調査価格
@最近 J X先行指標は高いため、ブランド料の比較基準としている。
- 10：セルフ：フルで分けるのは断念しました。
- 11：価格表・メルマガともに、すべて製油所出し価格（換算）です。
- 12：<全国エリア別スポット卸価格表>は、S S届け価格です。
業転情報に賛同いただいたメンバーさんの自主投稿です。
業転なりに運賃はまた別物部分がありますので、届け価格にしています。
- 13：毎月10日過ぎ 前月の「区分別」と「元売り別倉取り」価格表を出します。